

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(1)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物は水に溶けないものが多い。【 】
- (2) 第2類の危険物にはゲル状のものがある。【 】
- (3) 金属粉をこぼした場合、ブロアーで吹き飛ばす。【 】
- (4) 赤リンは空気中で発火するおそれがあるので、水中に保存する。【 】
- (5) 第2類の危険物には、窒息消火の効果がないものがある。【 】
- (6) 硫化リンは黄色の固体である。【 】
- (7) 三硫化リンは冷水とは反応しないが、熱水とは反応する。【 】
- (8) 硫黄は無味無臭である。【 】
- (9) 硫黄は電気の良導体である。【 】
- (10) 硫黄を空気中で燃やすと、青色の炎をあげる。【 】
- (11) 鉄粉は水酸化ナトリウム水溶液にほとんど溶けない。【 】
- (12) 鉄粉は燃焼すると白っぽい灰が残る。【 】
- (13) アルミニウム粉は塩酸と反応しない。【 】
- (14) マグネシウム粉は冷水で徐々に、熱水では激しく反応する。【 】
- (15) 引火性固体は低引火点の引火性液体を含有しているものが多い。【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(1)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物は水に溶けないものが多い。 【○】  
一般に水に溶けない。
- (2) 第2類の危険物にはゲル状のものがある。 【○】  
固形アルコールはゲル状である。
- (3) 金属粉をこぼした場合、ブロアーで吹き飛ばす。 【×】  
粉じん爆発を起こす危険性がある。
- (4) 赤リンは空気中で発火するおそれがあるので、水中に保存する。 【×】  
赤リンではなく黄リン。黄リンは第3類の危険物。
- (5) 第2類の危険物には、窒息消火の効果がないものがある。 【×】  
第2類のすべての危険物に窒息消火は効果がある。
- (6) 硫化リンは黄色の固体である。 【○】  
黄色の固体である。
- (7) 三硫化リンは冷水とは反応しないが、熱水とは反応する。 【○】  
冷水とは反応しないが、熱水とは反応する。
- (8) 硫黄は無味無臭である。 【○】  
単体では無味無臭である。
- (9) 硫黄は電気の良い導体である。 【×】  
電気の良い導体である。
- (10) 硫黄を空気中で燃やすと、青色の炎をあげる。 【○】  
空気中で燃やすと青色の炎をあげる。
- (11) 鉄粉は水酸化ナトリウム水溶液にほとんど溶けない。 【○】  
水酸化ナトリウム水溶液にはほとんど溶けない。
- (12) 鉄粉は燃焼すると白っぽい灰が残る。 【×】  
燃焼すると酸化鉄になる。白っぽい色ではない。
- (13) アルミニウム粉は塩酸と反応しない。 【×】  
酸と反応する。両性元素。
- (14) マグネシウム粉は冷水で徐々に、熱水では激しく反応する。 【○】  
冷水では徐々に、熱水では直ちに反応して水素を発生する。
- (15) 引火性固体は低引火点の引火性液体を含有しているものが多い。 【○】  
引火性液体を含有しているものが多い。